

〈模範解答〉……？ 私の意見も「答え」です。



昨日の成功をもとに考えても、今日のやり方を繰り返しても、「未知なる明日用の答え」はつukれない——不確かな「未来」。

従来型のテスト問題には、あらかじめ権威が定めた〈模範解答〉があります。「こういう問いかけにはこの答え」「こう答えれば○がもらえる」。でも、現実社会と照らしたら極めて不自然、とても「特殊」。活躍している大人のまわりには、そんな「特殊」ないですよ？

先に「答え」がない、不安定で不確かな「未来」を生きつくり続ける、いまの子どもたち(=未来の大人たち)が必要とするテストは、誰かが用意した「答え」をさぐり当てるようなテストとは、ねらいも役割も評価方法も価値もまったく違うはず。

また、不確かな未来を目の前にして、自分を前に向かわせるのは、自分自身の強い意志と意図。

だから、何よりも、テストの主人公は子どもたち自身に。子どもたちが、「自分ごと」として、アタマとココロをフル回転させる、自分で考え、判断し、探求し、自分の「答え=意見」をつくる。——このプロセスでこそその学び。自分が主体だからこそ生まれる「楽しい!」。「考える」、「学ぶ」、「楽しい」。だからまた「考える」「学ぶ」……ポジティブループが動き出す——そんな状況が生まれるテストを、

子どもたちに!——日能研のCSRであり、強い想いです。だから!日能研のテストには解答例こそありますが、〈模範解答〉はありません。常識の中で先につくった答えなんて、子どもたちの「輝く答え」には敵いませんもの。“自分は自由”それが本来の子ども。〈模範解答〉の顔色を窺うことなく、自由自在、縦横無尽に、楽しそうに、テストという状況の中でも自分の考えや発想を広げていきます。読み手を意識してわかりやすいようにと工夫した表現、独自の視点で鋭いポイントをつく意見、面白くしようと何度も何度も書き直した足跡……大人の私たちでは考えもつかない、ときに突飛な、驚かされる、うならせられる子どもたちの「答え」。——確かに「未来」につながっています。もちろん、「答え」は、子どもの数だけ出てきます。多様性を受け止めるための評価方法〈日能研ルーブリック※〉を採用。子ども自身が問題と向き合って、何を感じ、考え……表現しようとしたのか——そのプロセスをたどることは、「その子自身」と出会うこと。そのプロセスに「いいね!」を。そして、さらに自分の学びを育ててほしい——。

この秋、ぜひ『自分の「答え」をつくるテスト』、体験してください。

※〈日能研ルーブリック〉の詳細は、日能研ホームページまで。
<http://www.nichinoken.co.jp/event/free/about/rubric.html>

つながっている——私学にも、未来にも。入り口はこのテスト。

10月23日 小3 小4 小5 10月30日 小2

日能研全国テスト

参加
無料

[科目] 2科目(国語・算数)
[時間] 1回目 9:00集合
2回目 13:00集合
[会場] お近くの日能研各校
一部、教室によって開催時間が異なります。

▶保護者会同時開催◀

今回の全国テストについて、そのねらいや今後の学びなど、詳しくお話しします!

学校行事などご都合がつかない場合は、お気軽にご相談ください。



テストの詳細・お申し込みは
または、お近くの日能研へ!

日能研 検索



アフレカエル

公式HP
www.kaeru-chan.jp